



商業 旧両水跡地活用 に向け市街化区 域への編入は

「私の視点」
旧両水跡地は、西側農地ととも
に市街化区域に編入し、町
に不足している買い回り品店
舗などを兼ね備えた商業施設
用地として活用すべきではな
いか。

答弁（町長） 令和7年度に編入を予定し活用につなげたい

東部工業団地北東地区の開発状況

問 東部工業団地の北東地区について、市街化区域編入に向けた現地調査、基本計画の作成及び課題整理の状況について伺う。

答（町長） 昨年度に調査業務を実施し、土地利用状況の整理と課題の抽出を行った。今年度は、昨年度調査の成果を踏まえ、拡張構想をより具体化するため、概略計画の策定業務を委託し、事業実現化に向けた土地利用計画や構想案をとりまとめているところである。

市街化区域への編入手続きについては、地元合意も含め、事業化への課題等が整理され、素案がまとまった段階で開始する予定である。



町に不足する買い回り品店舗などを兼ね備えた施設として活用が期待される旧両水跡地

こんな質問もしています

- ・電子地域通貨「玉村パイ」の導入について
- ・死亡手続き一元化・お悔み窓口開設について
- ・玉村産ブランド麦焼酎の生産販売について



文化 町内には どのような石碑 があるか

「私の視点」
石碑という切り口で玉村町の
歴史を振り返ってみれば、町
の歴史や文化を知ることが
でき、新しい発見・魅力が見
つかるのではないかと。

答弁（教育長） 開田、用水、句碑、災害、戦争関係など様々ある

問 下之宮には、90年ほど前に村民が人力で林や畑を開墾し、水田に作り替えたときのことを記載した開田の記念碑がある。旧芝根小学校、今は「にしきの園」になっているが、その南側には日清、日露戦争の記念碑、そして聖跡記念碑がある。町内を回ってみるといろいろな石碑を見かける。

町内の石碑にはどのようなものがあるか。石碑という切り口で玉村町の歴史を振り返ってみたらどうか。町の歴史や文化を知ることができるのではないかと。新しい発見・魅力が見つかるのではないかと。

答（教育長） 町内には、開田、用水、句碑、災害、戦争関係など、実に様々な石碑がある。

言うまでもなく、石碑は当時の大きな出来事を後世に残したいという思いから建てられたもので、貴重な歴史資産と認識している。石碑に



昭和11年10月24日、下之宮で行われた「開田記念碑の除幕式」の写真で当時を振り返る

関心を寄せる人も多いことから、歴史資料館において、石碑を知ってもらうための企画を行いたい。また、魅力発信という観点から、町の観光スポット、歴史を学ぶスポット等として、石碑の活用について研究したい。

教育のデジタル化

問 私が40歳を過ぎた頃、私の小学校のときの恩師の講演会があった。外で遊んでいる子は、教室と違うものが見える。そういうものを知ることが教育の大切さであると話していた。

良い話だなと感じたが、今、学校ではGIGAスクール構想に基づき、デジタル化を進めているが、その中で、子供一人ひとりの姿をしっかり見る教育は行われているのか。

答（教育長） 教師が子供たちのことをよく見る、知ることは、教育の一番大事な出発点であるが、今の時代ICT端末を使うことは必要なことである。ただ、それだけでは教育はできない。使えるところでは端末を大いに使うが、あくまでも手段であって、目的ではない。

これからは、子供たちの状況を把握し、いろいろな場面で端末は使っていくが、使わないほうが良い場面も人間教育だからあると考えている。

こんな質問もしています

- ・行政のデジタル化への取り組み
- ・今年度実施の第6回フォトコンテストの結果と評価

